
■ ■ ■ ◆ KOHKEN Chemical News Liner
■ ■ ◆ (株)工業市場研究所
■ ◆ <http://www.kohken-net.co.jp> 2017年12月28日



平素より当メールマガジンをご利用いただきまして、ありがとうございます。
2017年は、本号が最終号となります。1年間お世話になりました。
2018年の配信スタートは、1月18日(木)とさせていただきます。
来年もよろしくお願い申し上げます。良いお年をお迎え下さい。

----- HEADLINE -----

- ◆経営: 昭和シェル石油と出光興産が協働事業の進捗を発表 (12月22日)
- ◆ディスプレイ: 凸版印刷が新しいデジタルサイネージ「FloatPanelDisplay」を開発 (12月21日)
- ◆フィルター: 旭化成メディカルがウイルス除去フィルターの紡糸工場を新設 (12月21日)
- ◆3Dプリンタ: JSRが3Dプリンティングの米国ベンチャーへの追加投資を実施 (12月21日)
- ◆塗料: BASFが上海に自動車用塗料の新工場を開設 (12月20日)
- ◆塗料: BASFがタイに初の自動車用塗料生産工場を開設 (12月20日)
- ◆金属: 住友金属鉱山がクロマイト回収事業への参入を発表 (12月19日)
- ◆ガス: 山口リキッドハイドロジェンが液化水素の製造能力の倍増工事が完了 (12月18日)
- ◆複合材料: 旭硝子が熱可塑性炭素繊維強化プラスチック(CFRTP)改良技術を開発 (12月14日)
- ◆価格改定
 - ・昭和電工が苛性ソーダを2月1日出荷分より値上げ
 - ・三洋化成工業がポリウレタン原料のポリプロピレングリコール(PPG)及びポリマーポリオール(POP)を1月5日出荷分より値上げ

- ・東洋紡がポリエステルспанボンド不織布を2月1日納入分より値上げ
- ・クラレがEVOH製品(エチレン・ビニルアルコール共重合体を1月22日出荷分より値上げ
- ・信越化学工業が塩化ビニル樹脂を1月21日納入分より値上げ
- ・日本合成化学工業が酢酸ビニルモノマー及びポリビニルアルコールを1月20日出荷分より値上げ
- ・積水フーラーが接着剤を2月1日出荷分より値上げ
- ・ユニチカが包装用フィルム2軸延伸ナイロンフィルム及びポリエステルフィルムを1月15日出荷分より値上げ



◆海外市場調査のWebサイト『グローバルマーティンラボ』を新設しました

<http://www.global-marketing-labo.jp>

近年のマーケティングの対象は国内市場中心からグローバル市場へと広がっております。

弊社では、グローバル市場においても足で稼ぐ生きた情報を収集すべく、充実した社内体制と外部ネットワークを構築し、多数の海外調査を実施しております。

『グローバルマーケティングラボ』では、工業市場研究所の海外調査のメニューの紹介や調査実績、各国情勢コラムを掲載しております。調査実績、海外情勢コラムは随時、更新を行っておりますので、是非、ご覧ください。

海外市場調査にご興味のある方は、TEL:03-6459-0165 又は
<http://www.global-marketing-labo.jp/contact/> までご連絡下さい。

----- WEEKLY NEWS -----

◆経営:昭和シェル石油と出光興産が協働事業の進捗を発表(12月22日)

昭和シェル石油と出光興産は、本年5月9日付で趣意書を締結した協働事業の強化・推進(以下:アライアンス)について進捗状況を発表した。

アライアンスの具体的成果としては、重複する各事業分野(原油船舶、精製、需給、物流、販売、コーポレート部門)におけるシナジー効果として本年度分80億円を達成する見通しとしている。今後に関しても、経営統合効果として掲げた500億円/5年の実現前倒しと、追加効果の更なる積み上げを図るべく、検討のスピードアップを最優先課題に掲げて取り組んだ結果、250億/3年のシナジー効果が計画よりも早期に実現できる見込みであり、300億円/3年のレベ

ルが視野に入ってきたとしている。

今後のシナジー効果拡大に向けた取り組みとしては、来春を目処に両社の原油・需給部門、調達部門、環境安全部門の事務所の統合を推進、7 製油所の競争力をさらに高めるため、製品輸出入まで含めた協働体制、成長戦略の検討や規制への対応においても、シナジー効果をさらに拡大すべく取り組みを進めていくとしている。

組織の融和・人的融和の推進としては、今後各部門へと相互出向を拡大していき、来春を目処に約 300 名の社員が同一事務所で業務を行う予定としている。また、社会貢献活動の一層の推進を行っていくとしている。

◆ディスプレイ:凸版印刷が新しいデジタルサイネージ「FloatPanelDisplay」を開発(12月21日)

凸版印刷は、白く光る特殊なディスプレイに、さまざまな形に加工した偏光フィルムをかざすことで、その部分にだけ映像が映し出される新しいデジタルサイネージ「FloatPanelDisplay(フロートパネルディスプレイ)」を開発したと発表した。

大型商業施設における製品のプロモーションやイベントでの企画展示などでの店頭販促ツールとして、流通業界や小売業界、観光事業者に向けて本格的に販売を開始する。

本製品の利用例としては、メガネや電車の形に加工したフィルムをアクリル板などに貼付しディスプレイの前面に設置し、レンズや車体にだけ映像を浮かび上がらせることができる。訴求したい商品やロゴを、空中に映像が浮いているような立体的で不思議な表現で展示できるため、アイキャッチ性が高く、集客効果が期待できる。

価格は 25 インチワイドスタンド型(25 インチディスプレイ使用の場合)で約 30 万円～。流通業界や小売業界、観光事業者に向けて本製品を拡販、2017 年度に関連受注を含め約 2 億円の売上を目指すとしている。

◆フィルター:旭化成メディカルがウイルス除去フィルターの紡糸工場を新設(12月21日)

旭化成メディカルは、セルロース製中空糸型ウイルス除去フィルター「プラノバ」の紡糸工場を現プラノバ紡糸・組立工場隣接地に新たに建設し、中空糸生産能力を 40,000 m³/年増強することを決定したと発表した。

近年、世界において生物学的製剤のウイルス安全性に対する要求が高まっていることに加え、モノクローナル抗体を中心としたバイオ医薬品の開発が盛んになってきたことから年々ウイルス除去フィルターの需要が増加しており、今後この動きは世界的に続くことが予想されている。このような背景から、さらな

る安定供給を目指すために、新紡糸工場の建設を決定した。

今回の増強により、2016年に竣工した「プラノバ BioEX」(親水化ポリフッ化ビニリデン(PVDF)製中空糸型ウイルス除去フィルター)の紡糸工場と合わせた同社のウイルス除去フィルター向け中空糸生産能力は130,000 m²/年となる。工期は2018年4月着工、2019年5月竣工予定としている。

◆3Dプリンタ:JSRが3Dプリンティングの米国ベンチャーへの追加投資を実施(12月21日)

JSRは、3Dプリンティング分野で革新的な技術を持つ米国のベンチャー企業Carbon社に対して優先株の増資を引き受け、25百万米ドル(約27億円)を追加出資したと発表した。

Carbon社は独自のDLS(Digital Light Synthesis)技術およびCLIP(Continuous Liquid Interface Production)技術により、高速造型、造形物自体の優れた物理的特性と表面平滑性を実現している。

JSRは、昨年9月にCarbon社の革新的な技術に着目して5百万米ドル(約5億円)を出資し、日本及びアジアでの事業化検討を進めてきた。今回、25百万米ドルを追加出資し、日本での事業展開を本格的に進めていくとしている。

◆塗料:BASFが上海に自動車用塗料の新工場を開設(12月20日)

BASFのコーティングス事業本部は、上海化学工業団地に、自動車用塗料工場を新たに開設したと発表した。

新工場では、シンナーやプライマー、クリヤーコート、水性のベースコートが生産される。また、2018年末までに自動車アプリケーションセンターを新たに稼働し、塗装用3-Dロボットなど、BASFのイノベーション・キャンパス・アジア・パシフィックにある研究開発設備へのアクセスを自動車メーカーに提供していく予定である。

今回開設された生産拠点は、中国の自動車製造市場に製品を提供するために新設され、溶剤系塗料から水性塗料、標準的なプライマープロセスから統合型のプロセスへの移行など、増大する業界のニーズに対応する。

BASFでは、1億4,000万ユーロ(約11億元)をかけた今回のプロジェクトは、BASFとHuayi Fine Chemical Co., Ltdの合併事業である既存の自動車用塗料工場を拡張したものであり、今回の拡張によってBASFの現地生産能力がさらに高まるとしている。

◆塗料:BASFがタイに初の自動車用塗料生産工場を開設(12月20日)

BASFのコーティングス事業本部は、タイのサムットプラカーン県にあるバ

ンプー製造拠点に、自動車用塗料工場を新たに開設したことを発表した。

今回新設した工場は、ASEANにおける BASF 初の自動車用塗料の製造施設であり、同地域の市場における需要拡大に対応するために、溶剤系、水性の自動車用塗料を生産する。

バンプーの新たな生産工場は、同じ場所に 2015 年 9 月に開設したコーティングス・テクニカル・コンピテンス・センターASEAN の施設を補完するものである。このテクニカル・センターには、製品開発用のラボ、高性能アプリケーション設備、カラーデザイン、小ロットの生産ユニットなどが揃っている。

同社では、生産施設と技術施設を同じ場所に置くことで、業務の効率化を図り、市場投入までの時間を加速させるとしている。

◆金属：住友金属鉱山がクロマイト回収事業への参入を発表（12 月 19 日）

住友金属鉱山は、ステンレス鋼の原料となるクロマイトの回収事業への参入を決定したと発表した。

同社は、子会社であるタガニート HPAL ニッケル社（本社：フィリピン、以下「THPAL」）にクロマイトの回収プラントを建設し、2020 年より生産を開始する予定である。同プラントの投資額 3,100 万米ドル、クロマイト製造能力は 10 万 5 千トン/年を予定している。

クロマイトは、中間製品であるフェロクロムに製錬加工され、ステンレス鋼をはじめ特殊鋼向け原料として幅広く使用されており、同社はこのクロマイトを THPAL のニッケル・コバルト混合硫化物の製造工程から回収する。

住友金属鉱山は、ニッケル・コバルトのみならずスカンジウムやクロマイトなどの副産物を効率的に回収することで自社の HPAL 技術（High Pressure Acid Leach：高圧硫酸浸出法）のコスト競争力を高める。また、ニッケル事業の主要な製品供給先であるステンレス業界向けに新たな素材を提供することで、世界のニッケル事業における自社の存在感を向上させるとしている。

◆ガス：山口リキッド水素が液化水素の製造能力の倍増工事が完了（12 月 18 日）

岩谷産業とトクヤマの合併会社である山口リキッド水素は、液化水素の製造能力の倍増工事を竣工し、稼働を開始したと発表した。

液化水素の需要は、今後普及が進む燃料電池自動車（FCV）や燃料電池バス（FC バス）向けに大幅な伸びが見込まれる。また、ロケット用燃料や半導体、化学など産業用分野で需要が増加しており、今回の増強はそれらの需要増に対応するものである。

山口リキッド水素では、山口県周南市のトクヤマ徳山製造所で苛性

ソーダ生産時に発生する水素ガスを配管にて受け入れ、精製・液化する。製造した液化水素は、全量岩谷産業が販売する。岩谷産業では、今回の増強により、液化水素の製造供給能力が年間 8 千万 m³ から 1 億 m³ に拡大するとしている。

◆複合材料:旭硝子が熱可塑性炭素繊維強化プラスチック(CFRTP)改良技術を開発(12月14日)

旭硝子は、自社のフッ素樹脂を用いた「熱可塑性炭素繊維強化プラスチック(CFRTP)改良技術」を新たに開発したと発表した。

熱可塑性樹脂であるポリアミド6を自社のフッ素樹脂を用いて改良することで、従来のCFRTPと比較して、耐衝撃性を30%向上した。更にポリアミド6の熱分解の原因となる吸水率を30%低減させることに成功した。これにより高温成形時の製品不良を低下させ、歩留を向上させることが可能となる。

本開発により高機能化したCFRTPは、更なる軽量化が求められている自動車・航空機・スポーツ用品など、幅広い用途への展開が実現する。また本技術は、高荷重・高温といった高負荷環境下での耐性が求められる、CFRTP以外のエンジニアリングプラスチックの改良にも応用することが可能になるとしている。

◆価格改定

- ・昭和電工が苛性ソーダを2月1日出荷分より値上げ
値上げ幅は、20円/kg以上(固形換算値)
- ・三洋化成工業がポリウレタン原料のポリプロピレングリコール(PPG)及びポリマーポリオール(POP)を1月5日出荷分より値上げ
値上げ幅は、20円/kg以上
- ・東洋紡がポリエステルスパンボンド不織布を2月1日納入分より値上げ
値上げ幅は、20円/kg
- ・クラレがEVOH製品(エチレン・ビニルアルコール共重合体を1月22日出荷分より値上げ
値上げ幅は、30円/kg
- ・信越化学工業が塩化ビニル樹脂を1月21日納入分より値上げ
値上げ幅は、15円/kg以上
- ・日本合成化学工業が酢酸ビニルモノマー及びポリビニルアルコールを1月20日出荷分より値上げ
値上げ幅は、酢酸ビニルモノマーが15円/kg
ポリビニルアルコールが国内:30円/kg、欧州:300EUR/mt
米国・アジアパシフィック:300USD/mt

- ・積水フーラーが接着剤を 2 月 1 日出荷分より値上げ
値上げ幅は、5%以上
- ・ユニチカが包装用フィルム 2 軸延伸ナイロンフィルム及びポリエステル
フィルムを 1 月 15 日出荷分より値上げ
値上げ幅は、2 軸延伸ナイロンフィルム：500 円/連(15 μ m 換算)
ポリエステルフィルム：300 円/連(12 μ m 換算)
バリア OPP フィルム：300 円/連(20 μ m 換算)



株式会社 工業市場研究所

TEL:03-6459-0165 FAX:03-5408-1584

〒105-0003 東京都港区西新橋 3-6-10 マストライフ西新橋ビル

<http://www.kohken-net.co.jp>

- ◆メールの設定により、読み難くなる場合がございます。ご容赦ください。
- ◆配信停止・ご意見・お問い合わせはこちらへ h-ikeda@kohken-net.co.jp

